

東京に多く残っている「文化財」にもっと興味を持ち、もっと訪れたいくなるような、デジタルコンテンツを作成したい！

課題



- 都教育委員会では、文化財活用事業として、毎年「文化の日」前後に、都内の文化財や文化財イベントを紹介する「東京文化財ウィーク」を実施
【参考URL】 <https://www.syougai.metro.tokyo.lg.jp/sesaku/week.html>
- 東京の文化財に興味を持ち、訪れたいくなるよう、新たな体験型のデジタルコンテンツを作成し、広報活動の更なる拡充を図りたい。
- 具体的には、文化財を巡り景品獲得を目指す「デジタルスタンプラリー」機能や、訪れた文化財を記録・管理できる「チェックイン」機能などの実装、インバウンド向けコンテンツの作成などに取り組みたい。

背景

【広報活動の現状】

- ペーパーレス・DX推進のため、従前作成していたガイドブックを廃止し、現在は上記HP（R5にキッズHPを作成）に加え、ポスターやチラシ等による周知がメイン
- 文化財所有者のアンケートによると、中高年層やリピーターからは紙媒体資料の充実を望む声が多い一方、“X”の投稿記事をきっかけに文化財を訪れたという若者の声もある。

【ターゲット】

- 子供・若者や親子連れをメインターゲットとし、体験型のデジタルコンテンツを導入することで、新規層の参加者数の増加、「東京文化財ウィーク」の認知度アップ（SNS上で話題になる）を目指したい。
- 参加者アンケート機能を実装し、感想の収集や属性の分析等を行いたい。

現場からのコメント



- 文化財の公開手法は多様であり、中には個人が管理するものもあります。文化財所有者に過度な負担が生じないよう、きめ細かな配慮が必要です。
- 文化財所有者や所在区市町村との連絡調整は、主に担当課で対応します。

現場情報

※現場への直接のご連絡は行わないでください